

# 令和5年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和4年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	英語教育推進事業			事業番号	038-032
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	教育課程

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(2) 子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン			
3	事業開始年度	昭和 62 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	教育基本法、学習指導要領			

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市立小中高等学校の児童生徒	対象数	61,219	
			単位	人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	児童生徒がネイティブ・スピーカー等との交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする機会を設け、英語を使ったコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市立小中高等学校にネイティブ・スピーカーを配置する。</li> <li>■大学の教授等を講師として招聘し、小学校教員及び中・高校英語教員の英語力及び英語指導力向上にかかる研修を実施する。</li> <li>■オンライン英会話のモデル実施を行う。</li> <li>■英語教育の専門性をもつ非常勤講師を小学校に配置する。</li> </ul>			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者			
10	公民連携・協働事業				

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	英語の授業はよくわかると答える生徒数	人 (%)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度
			目標値	10,590(77)	10,730(77)	10737(78)	11,150(80)
			実績値	10,961(79.7)	10,737(78)		
	達成率	104%	100%				
	当該指標を選定した理由	授業の理解度について、客観的に把握できるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	質問紙CBTによる堺市学習・生活状況調査 (中学1・2年生)					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
	英検3級程度の力を有する生徒数 (割合)	人 (%)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			目標値	3,600(50)	3,225(50)	(60)	
			実績値	3,784(53)	4,058(59)		
	達成率	105%	126%				
	当該指標を選定した理由	国の指標に対しての本市の取組状況が把握できるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	英語教育実施状況調査 (中学3年生)					

## 令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	英語教育推進事業	事業番号	038-032
-------	----------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	182,549	184,612	193,330	188,085	193,479
13 財源内訳					
国支出金	1,057	1,444	3,585	1,676	3,584
府支出金					
市債					
その他 (子ども教育ゆめ基金繰入金)			140,000		189,895
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	181,492	183,168	49,745	186,409	0
14 人件費 (b)	4,920	4,920	4,920	4,920	4,860
15 年間経費(c)=(a)+(b)	187,469	189,532	198,250	193,005	198,339

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源			
								R4	決算	R5
16 事業費内訳	英語教育推進業務委託料	R4	決算	163,116	163,116	会計年度任用職員通勤費等	R4	決算	775	666
		R5	予算	161,512	0		R5	予算	1,034	0
	堺市小中学校オンライン英会話委託業務【拡充】	R4	決算	9,212	9,212	労働災害保険負担金	R4	決算	0	0
		R5	予算	14,262	0		R5	予算	40	0
	委託業務事業者選定委員会委員報酬等	R4	決算	102	102	研修講師謝礼金	R4	決算	80	80
		R5	予算	215	0		R5	予算	322	0
	委託業務事業者選定委員会会場等借上料	R4	決算	67	67	研究指定校消耗品費	R4	決算	0	0
		R5	予算	100	0		R5	予算	20	0
	会計年度任用職員報酬	R4	決算	14,733	13,166	研究指定校印刷製本費	R4	決算	0	0
		R5	予算	15,938	0		R5	予算	36	0

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 英検3級程度の力を有する生徒数	人	3,784	4,058
② 上記①にかかる年間経費	千円	189,532	193,005
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	50,088	47,562
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成果指標は目標値を上回った。授業改善を進め、英語を使う機会を確保し、学んだことを使う英語の授業を推進したことによって、本市の教員の指導力及び生徒の英語力が向上したと考えられる。</li> <li>■ 活動指標は目標値を上回った。中学校において習熟度別指導等によるきめ細かな指導を行ってきたこと、ネイティブ・スピーカーとの授業の充実やオンライン英会話の拡充、また小学校における外国語教育の充実によって目標値が達成されたと考えられる。</li> <li>■ 令和2年度小学校新学習指導要領全面実施等ともない、小学校におけるネイティブ・スピーカーの活用回数が増加している。</li> <li>■ オンライン英会話を拡充することで、生徒一人ひとりが英語で話す機会が増加し、相手に自分の思いを伝えることができる生徒の割合が増加している。</li> </ul>
----	---

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ネイティブ・スピーカーの年間での配置やオンライン英会話の効果的な実施、授業改善に向けた研修の実施により外国語教育の充実が図られることで、児童生徒に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度や語学力が養われることから、第3期未来をつくる堺教育プランの基本施策2「グローバルに活躍できる力の育成」に寄与している。</li> <li>■ 早期より英語に慣れ親しみ、外国語でのコミュニケーション能力を育むことで、本市児童生徒の総合的な学力向上の育成に寄与している。</li> </ul>
----	--